



## 特色のある市町村事業（9月）

湯沢市発！

### 湯沢市地域学校協働本部 令和4年度第2回推進員協議会

湯沢市地域学校協働本部の「地域学校協働活動推進員協議会」が9月20日（火）、湯沢市立稲川小学校で開かれました。

この協議会は、湯沢市教育委員会生涯学習課が、活動の視察や協議・情報交換をとおして、推進員の資質向上や推進員相互の連携強化を図ろうと定期的に開催しているもので、当日は推進員や市教委職員等15人が参加しました。

事例発表を行った皆瀬地域推進員の高橋文子さんは、皆瀬小・中学校で取り組んだ「コミュニティ・カレンダー」づくりや「板戸番楽」の継承活動、SNS利用によるボランティア募集、体験型キャリア教育「地域未来発見塾」の講師選出などについて述べました。

参加者は、皆瀬小・中の好事例を十分に情報共有していました。



東成瀬村発！

### 宮西達也「絵本ライブ」

「ティラノザウルス」シリーズでおなじみの絵本作家・宮西達也さん（静岡県三島市）を招いた「絵本ライブ」が9月22日（木）、東成瀬村民体育館で開催されました。

このイベントは、東成瀬小学校の祖父母交流会「孫育て講座」の一環として、同村の読み語りグループ「つくしんぼ」が主催（東成瀬村芸術文化協会等共催）して開催したもので、児童・教職員のほか、祖父母、地域住民、読み聞かせサポーターなど約140人が参加しました。

宮西さんのライブは「聴衆参加型」で行われ、村長さんや校長先生、先生方などが多数飛び入り参加し、会場は温かく大きな拍手に包まれました。

参加者は、笑いあり涙ありの作風同様、聴衆の心をわしづかみにする宮西さんの一言一言に、どっぷりと浸っていました。



## アドバイザーコラム：学校・家庭・地域の連携・協働 21

### 部活動の地域移行①

社会教育アドバイザー 小笠原 重夫

今年度の上半期に教育・スポーツ関連のニュースで大きな議論を呼んだのは、「公立中学校の運動部活動の主体を学校から地域社会に段階的に移行させる」としたスポーツ庁有識者会議の提言ではないでしょうか。

同様の提言は、文化庁有識者会議からも出され、「吹奏楽や合唱などの文化系部活動も、段階的に地域団体等に委ねる」としました。

急激な少子化の進展で学校単位での部活動運営が困難になる中、スポーツ庁と文化庁の有識者会議はそれぞれ、令和5年度からの3年間を「改革集中期間」と位置づけ、まずは休日の部活動指導から地域に移行する方向性を示し、自治体には推進計画の策定を求めました。

しかし、地域の指導者や受け皿不足、財源の確保、保護者の経費負担の増加などを心配する声は、学校内外の関係者から多く出ています。

部活動の地域移行は、中学校教育の在り方はもとより、ジュニア期のスポーツ・文化活動の在り方をも根本から変える改革で、子どもたちを学校に任せきりの風土から、学校と地域が「連携・協働」して行う風土に移行する改革と捉えることができます。

筆者は、平成10年前後に、大曲仙北地域の小学校運動部活動の地域移行に携わったことがあります。その経験をもとに中学校部活動の地域移行についてシリーズで考えてみたいと思います。

まずは、運動部活動の地域移行から…。

